

運用報告書（全体版）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	無期限
運用方針	①日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。 ②「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。
主要投資対象	日本金融ハイブリッド証券オーブン（年1回決算型） 円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券オーブン（年1回決算型） 円ヘッジなしコース 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド
主的な組入制限	日本金融ハイブリッド証券オーブン（年1回決算型） 円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券オーブン（年1回決算型） 円ヘッジなしコース 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

日本金融ハイブリッド証券オーブン (年1回決算型) 円ヘッジありコース／ 円ヘッジなしコース (愛称) ジェイブリッド年1

第9期（決算日 2025年6月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「日本金融ハイブリッド証券オーブン（年1回決算型）円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース」は、このたび第9期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

 <https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先

 リテール営業部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

円ヘッジありコース

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	基準価額				債券組入比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰落		
5期(2021年6月14日)	円 11,339			円 0	% 3.3	% 96.6	百万円 722
6期(2022年6月14日)	9,994			0	△11.9	97.6	576
7期(2023年6月14日)	9,647			0	△ 3.5	94.6	694
8期(2024年6月14日)	9,593			0	△ 0.6	97.1	678
9期(2025年6月16日)	9,629			0	0.4	95.4	463

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率	券率
(期首) 2024年6月14日	円 9,593	% —		% 97.1
6月末	9,554	△0.4		97.6
7月末	9,593	0.0		92.4
8月末	9,758	1.7		92.7
9月末	9,846	2.6		96.5
10月末	9,724	1.4		98.1
11月末	9,704	1.2		93.7
12月末	9,609	0.2		96.6
2025年1月末	9,629	0.4		95.9
2月末	9,729	1.4		96.0
3月末	9,691	1.0		96.4
4月末	9,601	0.1		96.1
5月末	9,613	0.2		94.6
(期末) 2025年6月16日	9,629	0.4		95.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

円ヘッジなしコース

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	基準価額				債券組入比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰落		
5期(2021年6月14日)	円 13,330			円 0		% 6.3	% 97.0
6期(2022年6月14日)		14,333		0		7.5	96.4
7期(2023年6月14日)		15,128		0		5.5	94.1
8期(2024年6月14日)		17,816		0		17.8	96.6
9期(2025年6月16日)		17,217		0	△3.4		97.1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率	券率
(期首) 2024年6月14日	円 17,816	% —		% 96.6
6月末	18,181	2.0		96.6
7月末	17,420	△2.2		96.2
8月末	16,949	△4.9		95.1
9月末	16,944	△4.9		96.9
10月末	18,023	1.2		97.2
11月末	17,723	△0.5		96.7
12月末	18,415	3.4		96.3
2025年1月末	18,098	1.6		96.0
2月末	17,813	△0.0		96.8
3月末	17,784	△0.2		97.7
4月末	16,875	△5.3		96.1
5月末	17,094	△4.1		97.3
(期末) 2025年6月16日	17,217	△3.4		97.1

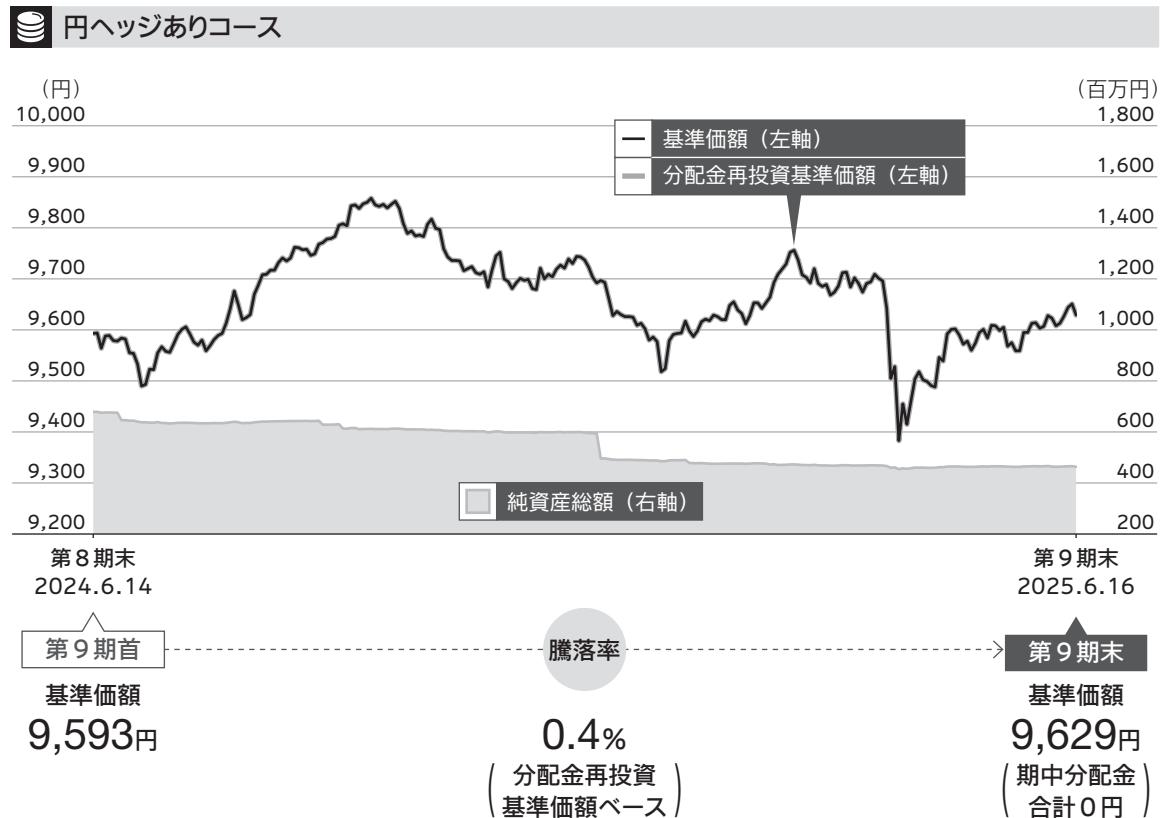
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがプラスとなったことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

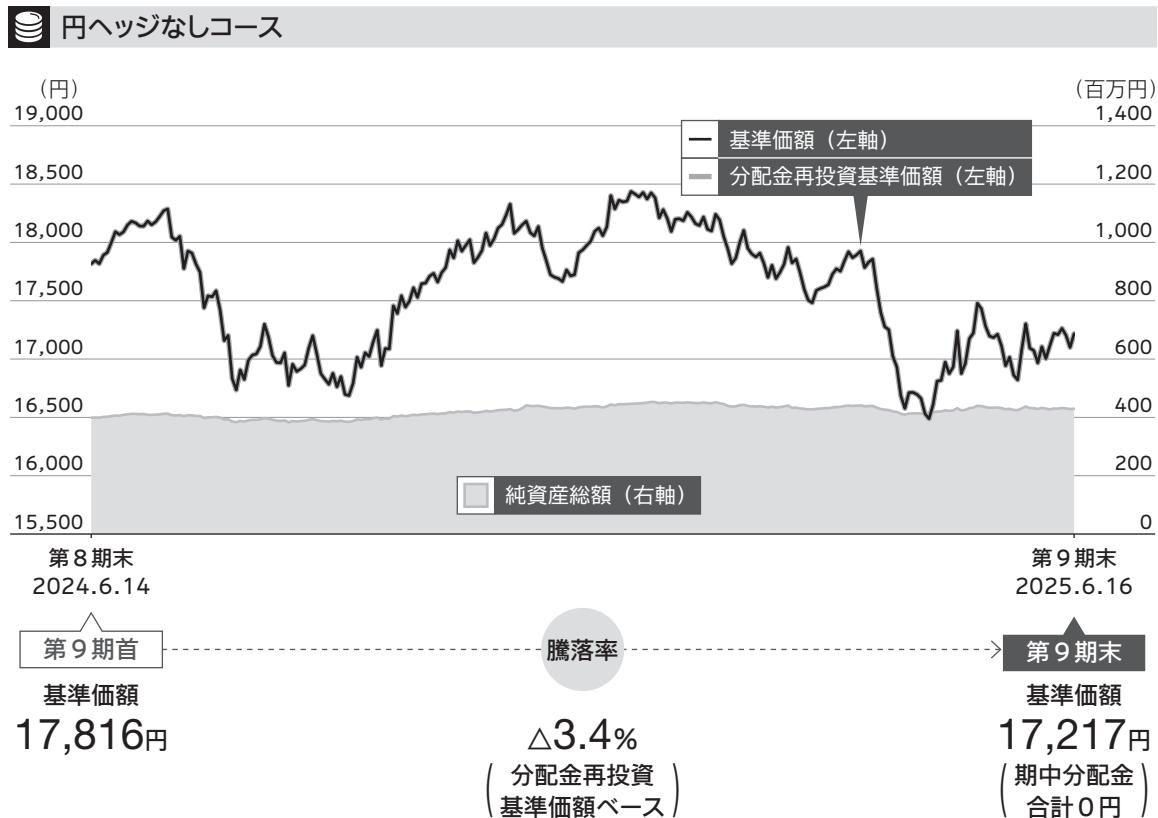
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は-2.6%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券において、対国債スプレッドはほぼ横ばいとなったものの、基準となる中期の米国債利回りが低下（価格は上昇）したことから、利回りは低下しました。同証券の所有期間利回りがプラスとなった一方、為替が米ドル安円高となったことから、基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が下落したため、当ファンドの基準価額は下落しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は-2.6%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券において、対国債スプレッドはほぼ横ばいとなったものの、基準となる中期の米国債利回りが低下（価格は上昇）したことから、利回りは低下しました。同証券の所有期間利回りがプラスとなった一方、為替が米ドル安円高となったことから、基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

2025年1月半ばにかけては、米大統領選挙でのトランプ氏再選による財政拡大やインフレ再燃に対する懸念から利回りは上昇しました。その後は、トランプ大統領による関税政策を受けて、景気減速懸念が高まつたことなどから利回りは低下基調となったものの、期を通じて見ると利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

2025年1月半ばにかけては、米国金利上昇の影響を受け、利回りは上昇しました。その後、3月にはドイツが財政規律重視の方針を見直し、財政拡張路線へ転換したことによって、大幅に利回りは上昇しました。期末にかけては、トランプ大統領による関税政策を受けて、利回りは低下したものの、期を通じて見ると利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

2025年1月半ばにかけては、米国金利上昇の影響を受け、利回りは上昇しました。その後、3月にはドイツの財政拡張路線への転換を受けたドイツ金利上昇が利回りの上昇圧力となりました。期末にかけては、トランプ大統領による関税政策を受けて、利回りは低下したものの、期を通じて見ると利回りは上昇しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、米国株式市場が堅調に推移したことなどから、2025年2月半ばにかけて縮小基調で推移しました。その後は、トランプ大統領による関税政策を受けて、景気減速懸念が高まつたことなどから、対国債スプレッドは拡大したものの、期を通じて見ると、スプレッドはほぼ横ばいとなりました。

○為替市場

米ドル円は米ドル安円高となりました。2024年9月にかけては、米国では利下げ、日本では利上げが実施される中、日米の金融政策の方向性の違いから日米金利差は縮小し、米ドル安円高となりました。その後は米国の堅調な景気指標を受けて米国の利下げ観測が後退したことなどから12月にかけて米ドル高円安となりました。期末にかけては、トランプ政権による関税政策を受けて、景気悪化懸念が強まったことなどから、米ドル安円高が進行しました。



(出所：Bloomberg)

注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

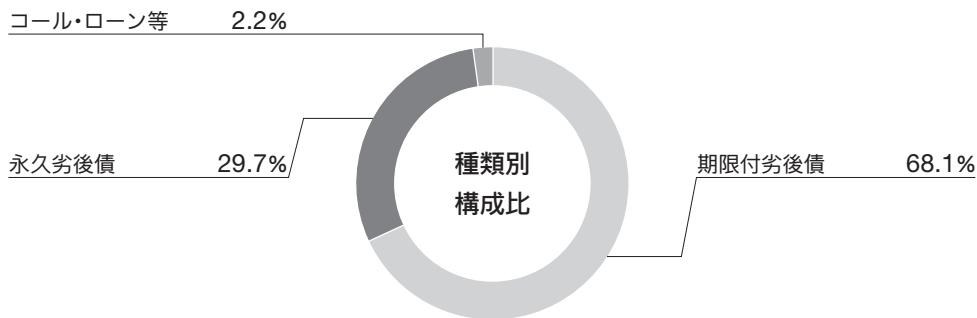
円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジを行っています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第9期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指標等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期 2024.6.15～2025.6.16
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,865

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

 円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期 2024.6.15～2025.6.16
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,217

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組入れ銘柄の入れ替えも検討します。

● 1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

項目	第9期 2024.6.15～2025.6.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	90円	0.929%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×期中の日数 年間の日数 期中の平均基準価額は9,670円です。
(投信会社)	(43)	(0.442)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(43)	(0.442)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.024	(b)その他費用＝期中のその他費用 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.013)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	92	0.953	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

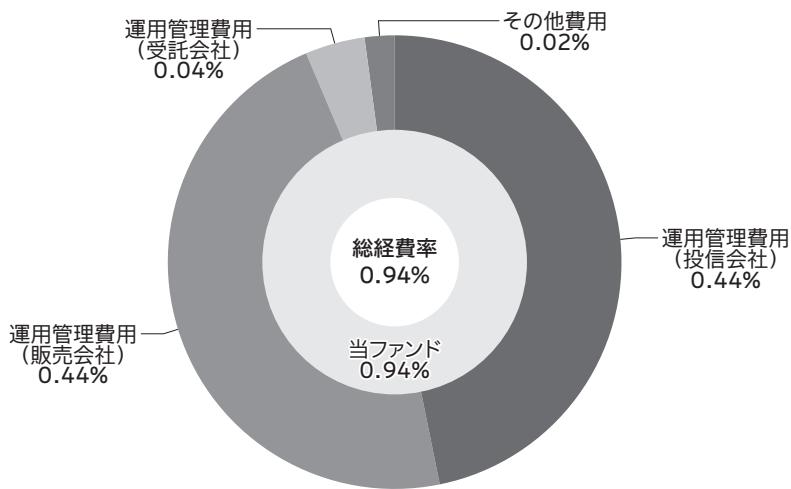
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

 円ヘッジなしコース

項目	第9期 2024.6.15~2025.6.16		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	164円	0.929%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×期中の日数 年間の日数 期中の平均基準価額は17,609円です。
(投信会社)	(78)	(0.442)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(78)	(0.442)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.025	(b)その他費用=期中のその他費用 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.014)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	168	0.954	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

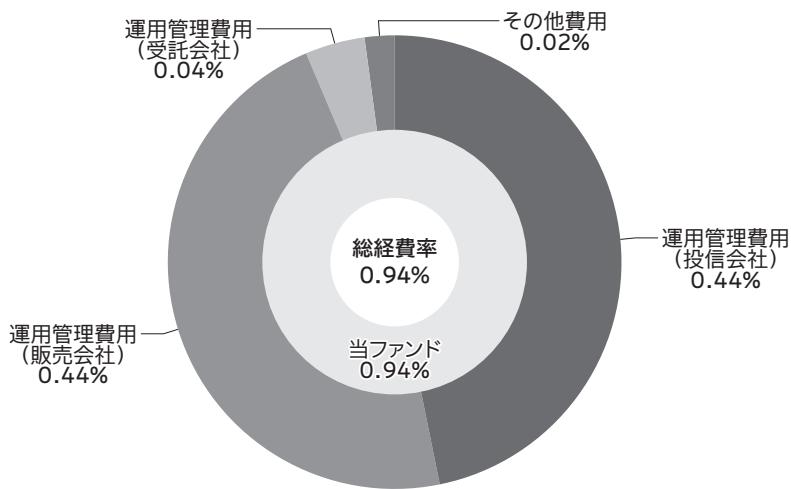
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジありコース

○売買及び取引の状況

(2024年6月15日～2025年6月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 31,704	千円 70,910	千口 121,100	千円 286,920

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月15日～2025年6月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月16日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	千円
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 286,502	千口 197,105	451,884	

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2025年6月16日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 451,884	% 95.9
コール・ローン等、その他	19,131	4.1
投資信託財産総額	471,015	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(5,524,263千円)の投資信託財産総額(5,570,427千円)に対する比率は、99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=144.42円、1ユーロ=166.56円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月16日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	899,160,728
コール・ローン等	19,130,833
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	451,884,087
未収入金	428,145,625
未収利息	183
(B) 負債	435,696,373
未払金	432,181,036
未払解約金	1,313,245
未払信託報酬	2,179,578
その他未払費用	22,514
(C) 純資産総額(A-B)	463,464,355
元本	481,322,742
次期繰越損益金	△ 17,858,387
(D) 受益権総口数	481,322,742口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,629円

(注1) 信託財産に係る期首元本額707,335,334円、期中追加設定元本額10,476,197円、期中一部解約元本額236,488,789円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額0.9629円

(注3) 期末における元本の欠損金額 17,858,387円

○損益の状況（2024年6月15日～2025年6月16日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	24,216
受取利息	24,216
(B) 有価証券売買損益	5,939,302
売買益	71,667,456
売買損	△ 65,728,154
(C) 信託報酬等	△ 5,155,786
(D) 当期損益金(A+B+C)	807,732
(E) 前期繰越損益金	△ 19,629,286
(F) 追加信託差損益金	963,167
(配当等相当額)	(55,621,146)
(売買損益相当額)	(△ 54,657,979)
(G) 計(D+E+F)	△ 17,858,387
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 17,858,387
追加信託差損益金	963,167
(配当等相当額)	(55,637,064)
(売買損益相当額)	(△ 54,673,897)
分配準備積立金	82,266,949
繰越損益金	△ 101,088,503

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2024年6月15日～2025年6月16日）は以下の通りです。

項目	2024年6月15日～ 2025年6月16日
a. 配当等収益(費用控除後)	12,757,122円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	55,637,064円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	69,509,827円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	137,904,013円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,865円
g. 分配金	0円

円ヘッジなしコース

○売買及び取引の状況

(2024年6月15日～2025年6月16日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 32,071	千円 75,320	千口 13,347	千円 31,290

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月15日～2025年6月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 167,430	千口 186,154	426,778	426,778

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2025年6月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 426,778	% 98.4
コール・ローン等、その他	6,948	1.6
投資信託財産総額	433,726	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産（5,524,263千円）の投資信託財産総額（5,570,427千円）に対する比率は、99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=144.42円、1ユーロ=166.56円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月16日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	433,726,761
コール・ローン等	6,948,185
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	426,778,510
未収利息	66
(B) 負債	3,974,786
未払解約金	1,948,393
未払信託報酬	2,005,680
その他未払費用	20,713
(C) 純資産総額(A-B)	429,751,975
元本	249,602,895
次期繰越損益金	180,149,080
(D) 受益権総口数	249,602,895口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,217円

(注1) 信託財産に係る期首元本額223,849,648円、期中追加設定元本額59,793,128円、期中一部解約元本額34,039,881円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額1,7217円

○損益の状況（2024年6月15日～2025年6月16日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	11,396
受取利息	11,396
(B) 有価証券売買損益	△ 10,646,367
売買益	1,109,398
売買損	△ 11,755,765
(C) 信託報酬等	△ 3,958,705
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 14,593,676
(E) 前期繰越損益金	74,700,731
(F) 追加信託差損益金	120,042,025
(配当等相当額)	(88,678,823)
(売買損益相当額)	(31,363,202)
(G) 計(D+E+F)	180,149,080
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	180,149,080
追加信託差損益金	120,042,025
(配当等相当額)	(88,849,839)
(売買損益相当額)	(31,192,186)
分配準備積立金	87,258,278
繰越損益金	△ 27,151,223

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2024年6月15日～2025年6月16日）は以下の通りです。

項目	2024年6月15日～ 2025年6月16日
a. 配当等収益(費用控除後)	12,557,547円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	92,890,802円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	74,700,731円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	180,149,080円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,217円
g. 分配金	0円

○お知らせ

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2024年12月16日）

＜計算期間 2023年12月15日～2024年12月16日＞

日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建てのハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率		純資産額
		期騰	中落率	
8期(2020年12月14日)	円 16,364		% 4.1	% 97.3 百万円 7,306
9期(2021年12月14日)	17,937		9.6	97.6 4,505
10期(2022年12月14日)	18,614		3.8	96.4 3,604
11期(2023年12月14日)	20,434		9.8	97.4 6,934
12期(2024年12月16日)	24,012		17.5	98.3 6,907

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比	券 率
(期 首) 2023年12月14日	円 20,434	% —		% 97.4
12月末	20,727	1.4		95.9
2024年1月末	21,625	5.8		96.8
2月末	22,063	8.0		97.4
3月末	22,401	9.6		98.5
4月末	22,799	11.6		97.8
5月末	23,101	13.1		97.3
6月末	24,028	17.6		97.6
7月末	23,027	12.7		97.2
8月末	22,415	9.7		96.0
9月末	22,425	9.7		98.0
10月末	23,888	16.9		98.4
11月末	23,504	15.0		97.7
(期 末) 2024年12月16日	24,012	17.5		98.3

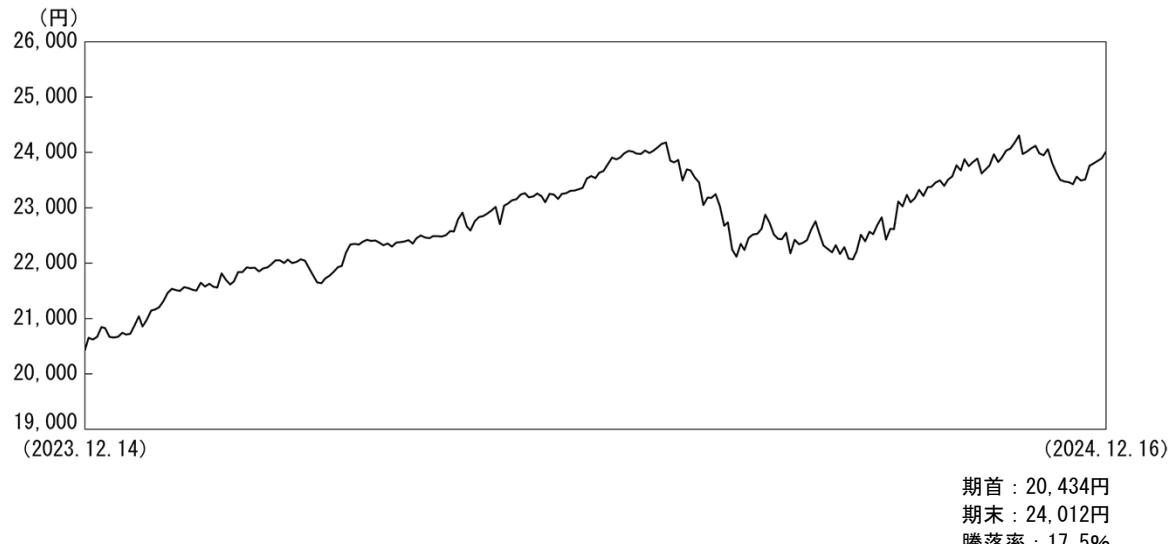
(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2023年12月15日～2024年12月16日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+17.5%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドが縮小し、利回りが低下（価格は上昇）したことや、インカム収入を獲得したことがプラスに寄与しました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

■投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

2024年4月にかけては、米国のインフレ率が高止まり、利下げ観測が後退する中、利回りは上昇しました。9月にかけては複数の経済指標が市場予想を下回り、利下げ観測が強まる中、利回りは低下したものの、米大統領選挙でのトランプ氏再選による財政拡大やインフレ再燃に対する懸念から利回りは上昇し、期を通じてみると、利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

米国金利上昇の影響を受けて、2024年4月にかけて利回りは上昇しました。9月にかけては、米国金利低下の影響や、欧州のインフレ鈍化などから、追加利下げ観測が強まり、利回りは低下しましたが、その後は米国金利の上昇を受けて利回りは再度上昇しました。米大統領選挙でのトランプ氏再選による欧州景気への影響が懸念される中、11月にかけて利回りは低下しましたが、期を通じてみると、利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

米国金利上昇の影響や、インフレ指標が市場予想を上回ったことなどを受けて、2024年4月にかけて利回りは上昇しました。9月にかけては、米国金利低下の影響などから利回りは低下しましたが、その後は、米国金利上昇の影響や、秋季予算案を受けて財政懸念が高まったことなどから、利回りは上昇しました。結果、期を通じてみると、利回りは上昇しました。

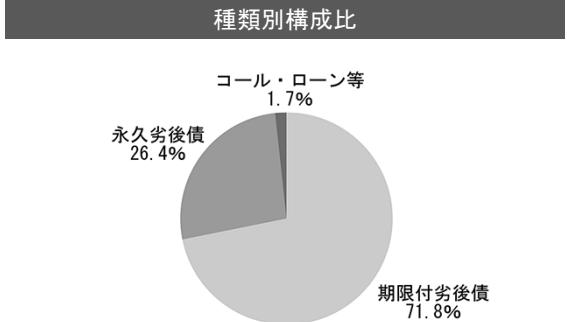
○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場では、米国の利下げが意識される中で、株式市場が堅調に推移するなど、市場のリスクセンチメントが改善し、対国債スプレッドは縮小基調で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



(注1) 比率は、第12期末における純資産に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組入れ銘柄の入れ替えも検討します。

○1万口当たりの費用明細

(2023年12月15日～2024年12月16日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用 (保管費用) (その他の)	円 3 (3) (0)	% 0.013 (0.013) (0.000)	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	3	0.013	
期中の平均基準価額は22,666円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2023年12月15日～2024年12月16日)

公社債

		買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券 (投資法人債券を含む)	千アメリカ・ドル 3,455

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月15日～2024年12月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年12月16日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 48,400	千アメリカ・ドル 44,103	千円 6,788,462	% 98.3	% —	% 73.5	% 9.0	% 15.8
合 計	48,400	44,103	6,788,462	98.3	—	73.5	9.0	15.8

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					償還年月日	
	利 率	額面金額	評 価 額		外貨建金額	邦貨換算金額	
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円			
普通社債券 (含む投資法人債券)	DAI-ICHI 4.0 260724 MEIJIYASUDA 5.2 251020 MIZUHO FG 2.564 310913 MSINS 4.95 290306 NIPPON LIFE 2.75 310121 NIPPON LIFE FRN 310916 NIPPON LIFE FRN 330913 SUMITOMO LI 3.375 310415 SUMITOMO LIFE FRN 340118 SUMITOMO MI 2.142 300923 SUMITOMO MI 6.184 430713	4.0 5.2 2.564 4.95 2.75 2.9 6.25 3.375 5.875 2.142 6.184	5,400 1,800 8,800 4,100 4,000 5,800 1,000 7,000 2,500 6,200 1,800	5,290 1,797 7,465 4,050 3,456 4,955 1,052 6,243 2,525 5,289 1,975	814,241 276,644 1,149,163 623,441 532,053 762,721 162,070 961,066 388,758 814,162 304,137	2026/7/24 2025/10/20 2031/9/13 2029/3/6 2031/1/21 2031/9/16 2033/9/13 2031/4/15 2034/1/18 2030/9/23 2043/7/13	
合 計					6,788,462		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 繰上償還条項が付与されている銘柄については、繰上償還予定日を償還日に記載しています。

*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,788,462	% 98.3
コール・ローン等、その他	118,682	1.7
投資信託財産総額	6,907,144	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(6,880,593千円)の投資信託財産総額(6,907,144千円)に対する比率は、99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=153.92円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年12月16日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	6,907,144,079
公社債(評価額)	42,283,801
未収利息	6,788,462,233
未収利息	76,398,045
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	6,907,144,079
元本	2,876,575,412
次期繰越損益金	4,030,568,667
(D) 受益権総口数	2,876,575,412口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,012円

(注1) 信託財産に係る期首元本額3,393,701,275円、期中追加設定元本額438,548,537円、期中一部解約元本額955,674,400円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

 日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型) 円ヘッジありコース
 992,217,431円

 日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型) 円ヘッジなしコース
 1,459,346,980円

 日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型) 円ヘッジありコース
 244,286,107円

 日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型) 円ヘッジなしコース
 180,724,894円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 2,4012円

○損益の状況 (2023年12月15日～2024年12月16日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	288,773,604
その他収益金	288,777,055
支払利息	4,444
△	7,895
(B) 有価証券売買損益	△ 902,580,344
売買益	903,399,339
売買損	△ 818,995
(C) 保管費用等	△ 971,296
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,190,382,652
(E) 前期繰越損益金	△ 3,540,830,152
(F) 追加信託差損益金	△ 530,891,463
(G) 解約差損益金	△ 1,231,535,600
(H) 計(D+E+F+G)	△ 4,030,568,667
次期繰越損益金(H)	4,030,568,667

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。